



SEP, 2013

No. 1

(医)サヂカム会
三国丘病院

巻頭言：就任挨拶

心療内科から精神科へ、そして三国丘へ

この4月1日をもちまして三国丘病院の院長に就任いたしました河口 剛です。三国丘病院には、2009年から勤務させていただいておりますが、もともとは心療内科医であります。そんな私が2005年より大阪市立大学神経精神科にお世話になり、当初より児童グループに所属し、児童精神科医として生きる決心をしていました。私の気持ちを汲んでくださり、当時の教授の切池信夫先生に三国丘病院に行くよう言われました。それ以来4年が経ってしまいました。

初めて三国丘病院に来た時に、堺東駅からの近さに驚きました。他にもそれまで勤務していた病院とは明らかに違う点にとまどいました。まず驚いたのは外来患者さんの数の多さです。ベッド数

が少ないので今度の病院は少しゆっくりできるかもしれないと思っていたのですが間違いました。神経症レベルの患者さんが多く来院されるので、精神科医としては当たり前の話ですが、より患者さんの訴えを聞かなくてはならなくなりました。仕事の中身は心療内科時代に戻ったかのようでした。

私は三国丘病院で児童思春期外来を中心に担当することになりました。児童思春期の精神医学はニーズの割に専門医が少なく、私の外来でさえ待ち時間が長い状況です。今後も私の特性、病院の特性を生かして職員の皆さんと協力して、出来る限りの医療を地域に提供していくつもりにしております。何卒よろしくお願い申し上げます。

(「三国丘病院創立50周年記念誌」より転載・改訂)

三国丘病院 院長 河口 剛 (かわぐち たけし)

新体制発足

サヂカム会および三国丘病院は、本年4月1日より、下記陣営として体制一新する運びとなりました。関係各位にはすでにご挨拶差し上げておりますが、当方の不手際で欠礼しておりますとしたら、伏してお詫び申し上げるとともに、改めてここにご報告する次第です。

今後とも、サヂカム会と地域精神保健の発展のため専心職務に精励いたす所存でございますので、何とぞご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

理事長 奥野正景 (おくの まさかげ)

院長 河口 剛 (かわぐち たけし)

顧問 千頭孝史 (ちかみ たかし) (前理事長・前院長)

●病院理念● 「誠意ある明るく開かれたこころの医療」

●基本方針●

1. 患者様の人権を尊重した誠実な態度（患者中心、主体、人権、倫理）
2. 安全で安心できる医療（医療の質、安全、安心）
3. 研鑽に励み、質の高いチーム医療（信頼、倫理）
4. 説明と同意に基づく信頼される開放的な医療（自由、開示性、インフォームドコンセント）
5. 専門知識を活かした地域の精神保健福祉への貢献（地域社会、精神保健福祉）



開設 50 周年記念誌



医療法人サヂカム会は平成 22 年 9 月 27 日に、三国丘病院は平成 23 年 1 月 5 日に開設 50 周年を迎えました。ご報告がたいへん遅れましたが、本年 3 月に 50 周年を記念した小冊子を刊行いたしました。諸先輩、諸先生方からお祝いの言葉を賜り、また写真や資料をご提供いただき、誠にありがとうございます。

開設から、前記しました新体制発足直前までの歩みを綴っております。当院の成り立ちと現状を知っていただきたく、日頃よりお世話になっている関係医療機関等にお配りしております。



労働局主催研修会発表

大阪労働局主催の『看護師等の「雇用の質」の向上のための研修会』にて、平成 25 年 3 月 12 日、当院看護部長・江崎美佐子が三国丘病院の勤務環境改善の取り組みについて発表を行ないました。これは、三国丘病院の労働環境改善の取り組みが好事例病院として評価され、200 床未満の中小病院 6 つのうちの一つに選ばれたものです。勤務環境の課題が多いとされている中小病院ですが、職員の満足度を上げることも患者満足度につながることと考え、今後も改善に取り組んでいきます。



心理カウンセリングルーム

Psychotherapy and Counseling room at Mikuni-hill Mental Care Center

前号でもお知らせしたとおり今年 1 月より、心理カウンセリングルームを三国丘こころのケアセンター 1F に開設いたしました。病院とは独立させ、保険適用外（自費）で、希望される方の心理的相談に応じています。思春期から青年期、成人、中高年と年齢層も様々で、抱える悩みや問題も、おちこみ、不安、情緒的問題、対人関係、家族関係問題から、感情障害（うつ）、社交不安障害（対人恐怖）、ストレス障害、パニック障害、強迫性障害、身体表現性障害（心身症）などの疾患を持つ方まで多岐にわたっています。問題や症状、ニーズに合わせて、一般的なカウンセリングだけでなく、行動療法、認知療法、リラクセーション法等を組み合わせて行ないます。

現在のところ、三国丘病院通院中の希望者・自費負担同意者に限られさせていただいておりますが、ゆくゆくは外部医療機関の方へも門戸を開く予定でいます。



子どものこころ

#09

～子どものウソの発達～

私たち大人は、子どもたちに絶えず「ウソはいけない、ウソをつくのは悪いこと」と言って聞かせています。これはどんな社会、文化でも同じことでしょう。ところがそれでも子どもはウソをつくり、年齢とともに次第に複雑になり、ばれないぐらいに巧妙にもなってきます。

むろんウソをつくこと、そして“熟練”することは好ましいことはありませんが、子どもの発話行為の発達として考えた場合、子どもの発達指標のひとつと考えることができます。確かに“上手に”ウソをつくためには、さまざまな認知能力の向上が必要です。①現実と非現実との区別、②記憶力、③計画性・戦略性、④相手の視点を考慮に入れる能力、⑤言語性（語彙、話し方、抑揚など含む）、⑥即興性（頭の回転の速さ）、⑦感情や表情行動の制御…などなど。

子どもがウソをつけるようになるのは、われわれ大人が思っているよりもずっと早く、単純なウソ（例えば、つまみ食いをしたのに「していない」とただ否認するような）ならば、3歳頃にはつくことが可能なようです。ただし、そのウソを一貫させるのは難しいようで、「美味しかった？」と聞くと、「うん！」と簡単にばれてしまいます。ウソに一貫性・整合性を持たせられるのは、一般的に8才頃からのようです。

近年の発達心理学研究では、ウソを、社会的行動の発達のひとつとして捉える傾向にあり、対人コミュニケーションを円滑に



するためのルール理解の発達指標としています。相手を傷つけないウソ、慮（おもんばかり）るためのウソ、罪のないウソ—英語圏では white lie と言うそうです—、これらも意外と早い年齢からつくことができるという報告があります。早い子どもでは3歳から、5,6歳ともなれば8割程度、11歳頃になるとそのほとんどが、その場の「空気を読んで、他者の立場を配慮したウソがつけるらしいのです。これらは海外の、しかも実験状況での結果ですが、“和を尊ぶ”日本文化に生きる子どもの日常場面では、さらによく当てはまるかもしれません。

これに対応して、ウソに対する定義づけも変化していきます。「ウソは常にについてはいけないもの？」という質問に對し、5歳ではYesと答えるのが9割方、11歳ではほぼゼロ。ウソは時と場所、相手によりけりで、まさに「ウソも方便である」と、長ずるに従って意味づけていくようです。

ウソの発達は、思春期に突入して、親子関係から友人関係・社会的関係性に关心が向くことと密接に関係しています。親にウソをつくこと=秘密を持つこと、自分で情報をコントロールすることと言えるからです。親からの分離・自立過程、自我の確立の現れとも言えそうです。こう考えますと一さて、子どものウソを叱つていいものやら、喜んでいいものやら。

(心理室)

入院案内

他の医療機関や診療所の先生方から、三国丘病院への紹介入院の流れについて、お問い合わせが時折あります。なかには「紹介する患者さんへ説明してあげたい」というお声もあります。この場を借りてご案内いたします。

①電話：
まずお電話ください。
☎ 072-233-1880
精神保健福祉士ないし外来看護師が対応します。

②当院での対応が可能かどうか、お話を伺います。
その上で、ご来院の日時を決めさせていただきます。

③空床状況確認など、
お時間をいただく場合には、こちらから折り返しご連絡差し上げます。

④受付：必ず保険証・医療受給者証等をご持参ください。受付にて新規登録いたします。紹介状も受付にお渡しください。

⑤予診：診察前に、担当の精神保健福祉士が経緯や症状等をお伺いします。

⑥診察：予診内容の確認、診断、治療の方向性、当院での対応の可否、入院の説明などを含めて診察いたします。入院に不安のある方は、病室の見学もできます。

⑦入院：入院決定のち、手続きとなります。その後病室までご案内いたします。

- 入院時にご用意いただくもの：印鑑、衣類（普段着、下着類）、洗面・洗髪道具（洗面具、歯ブラシ等）、日用品（タオル、ティッシュ等）、他。その他持ち物、費用に関しては手続き担当者にお尋ねください。
- 刃物、危険物等、病棟に持ち込みできない者があります。
- 当院は全館禁煙です。
- 携帯電話は、院内規則を守つていただければご使用いただけます（同意書必要）。

外来案内



Information & Guidance

◆平成25年6月13日～(一時的に下記に変更しております)

	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診 齊藤☆	河口☆	原口	後藤	千頭☆ 千頭*(奇数週) 中井*(偶数週)	
午 後	2 診 楠部☆*	千頭☆	—	齊藤☆	中井*	齊藤*
午 前	1 診 千頭☆	原口	中井☆	原口☆	河口	齊藤☆
午 後	2 診 原口	岡田☆	奥野☆	辻☆	—	河口☆

☆：予約診察。予約は外来看護窓口でお取り下さい。

*：薬のみ診察の方。1時間ほどで第1診察室に切り替わります。

(月) 午前第2診察室は1時間程度お薬の後、

予約診察に切り替わります。

△担当医が変更になることがあります。事前にお問い合わせください。

△児童精神科外来：

(月) 午前 第2診察室

(水) 午後 第2診察室

(土) 午後 第2診察室 すべて予約制

【診察時間】 (月)～(土) 午前 9:00～12:00(受付は11:00まで)

午後 2:00～5:00(受付は3:30まで)

【休診日】 日曜、祝日、年末年始(12/29午後～1/3)、創立記念日(1/4)

Access & Map

病院案内

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町1丁5番1号

TEL 072-233-1880

FAX 072-222-1709

URL <http://www.mikunihill-hp.or.jp/>

(新しく変わりました)

●南海高野線 堀東駅下車

東出口より、南東へ徒歩約5分。

●駐車スペースが非常に少ないため、
できるだけ電車等の公共交通機関を
ご利用ください。



■診療科目 精神科・心療内科・神経内科・児童精神科

■開設者 奥野正景

■精神科病床 144床

●昭和36年開設

●精神科病棟 15対1

●看護師比率 70%以上

●看護補助加算1

●完全院外調理

■併設施設・承認等

・薬剤管理指導施設

・精神科作業療法施設

・精神科デイケア(大規模)「けやき」

・付属診療所 三国丘こころのクリニック
〔院長 奥野正景〕併設:こどもショートケア「和一なごみ」

・共同生活援助・共同生活介護 グループホームえびす

・三国丘こころのケアセンター(地域生活支援部門/自費心理相談部門)

・臨床研修病院(協力型)

・清恵会医療専門学院准看護学科実習施設

・白鳳女子短期大学看護学専攻実習施設

・日本医療機能評価機構 病院機能評価認定病院

■地域精神保健活動

・阪奈中央リハビリテーション専門学校作業

療法実習病院

・堺市教育委員会嘱託医

・堺市就学指導委員会委員

・大阪府立堺支援学校校医

・大阪市立大学医学部非常勤講師

・堺市こどもセンター非常勤医師

・大阪市嘱託医

・堺市嘱託医

・大阪府堺地域産業保健センター メンタルヘルス相談